

## 良質な映像作品の誘致で 鹿児島県の魅力を世界へ

学生時代、テレビドラマの制作現場でのアルバイトをきっかけに、映像作品との関わりを深めていった有川奈々絵さん。2011年4月にNPO法人化した「かごしまフィルムオフィス」に勤務し、鹿児島県のフィルムコミッションスタッフとしての県の映像制作会社からの問い合わせや依頼に奔走する毎日だ。近年は人気作品のロケ地として注目を集める鹿児島県。自身の仕事や映像の舞台としての鹿児島県の魅力について伺った。

NPO法人 かごしまフィルムオフィス

ありかわ ななえ  
有川 奈々絵さん

Nanae Arikawa

## フィルム

### コミッションとは

### どんな仕事ですか？

フィルムコミッションとは、映画やドラマなどあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致して、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関です。私はロケーションコーディネーターとして、制作側のリクエストに応じて撮影に使う場所やエキストラなどの人材、撮影スタッフの宿泊先や食事などをコーディネートしていきます。県内各地域の協力や情報をもらいながら依頼者に提案を行うのですが、すべてがうまくマッチングすることはまだ少ないですね。はじめから鹿児島を舞台とした映画やドラマだとロケ地も決まりやすいのですが、そうでない場合は相思相愛になるのはなかなか難しいです(笑)。ほかに、エキストラ登録



をしている人たちへの情報発信も行っていきます。

撮影が決定した後は、現場へ向いて撮影スタッフのフォローに回ります。撮影が滞りなく進むための重要な仕事であり、一方でロケ地となった地域を守るという側面もあるんです。私たちは、映像作品を通じて鹿児島の良さをアピールしたい、そんな気持ちで仕事に取り組んでいます。それによって地元の人たちや環境にストレスを与えるのは本意ではありません。トラブルを未然に防ぐためにも、双方との意思疎通がしつかりできるように心掛けていきます。

### 撮影を支援した作品で

### 印象に残ったものは？

最近では、やはり「小惑星探査機はやぶさ」に関する3つの映画でしょうか。NPO法人として初めて携わった「はやぶさ/HAYABUSA」、内之浦宇宙空間観測所の組立棟で上映会を行った「はやぶさ 遙かなる帰還」、撮影スタッフと地元交流が心に残った「おかえり、はやぶさ」。映画公開に伴い、ロケ地となった肝付町と共同でキャンペーンを展開するなど、撮影時も公開後も見守ってきた作品ですから、

それぞれに苦労や喜びが詰まっています。

また、九州新幹線や鹿児島県の何気ない風景が登場する是枝裕和監督の「奇跡」も思い出深い作品です。撮影には1カ月ほど立ち会いしました。是枝監督作品ということで注目度が高く、上映後の問い合わせの多さにびっくりしました。実はこの頃、私の中には「ロケ誘致」鹿児島観光PR」という図式はまだなかったんです。反響の大きさを目の当たりにして、さらに他県のフィルムコミッションの活動も勉強することで、「私たちの活動が鹿児島の活性化につながるんだ」と強く感じた作品でもあります。

### 映像コンテンツによる

### 地域活性化の可能性は？

鹿児島にはまだ私たちも知らない魅力がたくさんあります。そんな場所で良質な映像作品を作ってもらおうことで、多くの人たちに鹿児島をアピールできるし、鹿児島に行ってみようかな、というきっかけ

になるかもしれない。それが、かごしまフィルムオフィスで仕事をしてくれて実感したことです。

九州新幹線全線開業で鹿児島へのアクセスが便利になったこともあり、鹿児島のロケ地を訪れる人も増えたのではないかと思います。たくさんの方が訪れることで地域活性化につながりますし、その可能性を高めるためには、制作側と地域の橋渡しやフォローをできる存在が不可欠です。なぜなら前にも述べたように、地域を守ることも必要だからです。「鹿児島は撮影しやすい」「ロケをするなら鹿児島で」と思ってもらえるように、まずは環境を整えること。将来的には、作品づくりの現場が身近にある場所にできたらうれしいですね。そして、ゆくゆくは制作や俳優といった人材が育つ場所になれば、…という夢も持っています。



内之浦宇宙空間観測所M大地組立棟の中で行われた「はやぶさ 遙かなる帰還」の上映会。観測所内での映画上映は日本では初めてのこと



昨年夏、鹿児島で「おかえり、はやぶさ」を撮影中の映画スタッフと一緒に撮った写真。右から2人目が有川さん